

麻の仲間



底力を身につけよう！

前号第13号で、駅伝でがんばった[]さんの感想を紹介しました。苦しさから逃げることなくひたむきに走り、タスキをつないだことは本当に素晴らしいものです。

そこで、みなさんにも考えてもらいたいと思います。長距離を走っている人は最初から「精神力」や「力」をもっていきるわけではありません。1秒という時間を短縮するために、努力を重ねてきた結果なのです。苦しいからこそもうひとふんばりする。その積み重ねが1秒へとつながる。それが底力になるのだと思います。これは駅伝だけでなく、学習や生活においても同じことが言えます。

苦しさから逃げるのではなく、もうひとふんばりすることで得られるものはたくさんあります。ぜひみなさんも実践してほしいものです。



「中学生になって自分が支えた人、支えられた人」 至誠ノートより

●中学生になって私が支えられたと思う人は同じ部活の人です。学校生活で疲れたあとも、いっしょにがんばって部活に行くことができました。またテニスでわからないことや苦手なことを教えたり、教えてもらったりして部活の仲間を支えることができたし、私自身も支えられたと思います。これからも支え合ってがんばりたいです。

●中学生になって支えられた人は母です。中学生になってからというよりも、「それ以前からずっと」といった方が正しいですが、とにかく支えられまくりのです。具体的に表そうとすると、何を言えばよいのかわからないくらいです。支えられて、支えられて、支えられて、今の僕がいるので、とても素晴らしいことだと思います。

●私は中学校に入って、友だちや先輩方にたくさん支えてもらいました。勉強でわからないところがあるときはわかりやすく教えてもらったりしました。また、先生方にはいろいろな面で支えてもらいました。相談事をきいてもらったり、勉強を教えてもらったり、時には怒ってもらったりしました。このようなたくさんの支えがあり、私はここまで成長することができたので、これからは私が支えられるような人になっていきたいと思っています。

●支えてもらった人は家族と地元の友だちです。家族は受験のときも支えてくれ、いつも自分のことを応援してくれています。地元の友だちは、受験が終わったとき「おつかれさま」と言ってくれ、合格したときは自分のことのように喜んでくれました。自分は今まで人を応援したことはあるけど、支えになったことはないので、支えになれるように生きていきたいです。

●中学生になって支えてくれた人は両親です。中学生になって環境が変わり、初めの頃よく体調をくずしていました。そのとき母や父が「無理せずゆっくり慣れていこうね」と言って私を助けてくれました。心の支えになってくれた母と父に、とても感謝しています。だから私にとって、支えてくれた人は両親です。

●私は今までたくさんの人に支えられてきたと思います。両親だけに限らず、友だちや先生方など数えきれないほどの人に支えられてきました。でも、私は周りの人を支えることができてないと思います。だから自分も誰かを支えることができるようになるために、努力していきます。

「セミナーテストは自分にとって何だったか」 至誠ノートより



●セミナーテストは私にとって、復習テストでした。それは今までに習ったことを再び振り返って勉強できるからです。また、90点以上で賞状をもらったときモチベーションが上がったり、チームで団結できた感じを得ることができたりするものでした。これからも2組に勝ちたいです。そのためにまず、95点をとろうと思います。

●僕にとってセミナーテストは2つの意味があります。1つめは、勉強の質を上げるトレーニングになるテストであるということです。勉強はたくさん量をして、質がよくなかったら意味がないと思います。このテストがあるので朝学と自主学習で質の高い学習ができています。2つめはチームとチームのたたか合いになり、ワクワク、ドキドキするテストであるということです。11HRと12HR、この2つのチームが同じテストを受けて競いあい、成長しあっていきたいです。セミナーテストはあと2回です。2回とも12HRが優勝できるように、最後まであきらめずに努力したいです。

●私にとってセミナーテストは、自分が今まで学んできた基礎的なことの復習や、自分はどの範囲が理解できていないかの確認ができるものです。セミナーテストは特に重要な部分が出題されているので、苦手な部分は全て覚えておこうと思います。私は社会が一番苦手なので次のセミナーテストで社会は全問正解したいです。

●私は、セミナーテストで基礎的な力が身についたと思います。私は英語の単語を並びかえるのが苦手なのですが、その苦手分野がある程度できるようになりました。また苦手な漢字を復習してちゃんと点数をとれるようになりうれしかったです。

●僕にとってセミナーテストは、定期テストの一つ前の段階の小さな目標やゴールになっていたと感じます。セミナーテストは定期テストに比べて、それに向けて一生懸命勉強する人は少ないかもしれませんが、でも、セミナーテストのような小さなことも、1つずつやっていくことに意味があると思います。小さなことががんばれるから、大きな目標に向かってがんばることができます。優秀賞をとることは難しいけれど、日々小さな積み重ねをしっかりとやっていこうと思えるようになりました。

●私にとってセミナーテストは、中間テストや期末テストのような大きなテストに向けて、毎日の積み重ねを確かめたり、どのくらいの力がついているかを確認できたりするものでした。最初は、セミナーテストがあると思うと「めんどくさい」とか「いやだ」という気持ちもありましたが、今では「絶対100点をとってやる」というやる気にもなっています。